

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第2章 疾病別の医療連携体制の構築

第2節 脳卒中

とりまとめ担当課：保健福祉局保健医療部医療課

1 課題に対する平成25年度の実績

(1) 予防	
	<p>→県民に対し、より効果的な施策の推進を図るため、有識者や先進的な取り組みを行う民間企業、自治体等により検討を行う健康寿命日本一戦略会議を設置した。(平成25年5月)</p> <p>→県内の各団体・関係機関や市町村とともに健康づくりを推進するために、かながわ健康プラン21推進会議を開催(2回)した。</p> <p>→かながわ健康プラン21の事業検証と、県民、関係団体、行政間で効果的な推進を図るために神奈川県生活習慣病対策委員会を開催(1回)した。</p> <p>→かながわ健康プラン21推進会議の構成団体がイベントやセミナー等(かながわ健康財団による各種イベントにおける簡易測定等)を開催し、ホームページで情報提供した。</p>
(2) 医療	
ア 病院前救護体制及び急性期医療	<p>→救急患者の円滑な搬送に資するため、医療機関の応需情報を、消防機関や医療機関に提供する県救急医療情報システムを運用するとともに、システムの利便性を向上するため、タブレット型端末で利用できる等、新たな機能を付加したシステムの開発に向けて検討した。</p> <p>→ 二次救急医療機関のMRI検査室、CT室等の増改築、改修等に要する経費や救急患者の治療等に必要な専用医療機器購入費に対して補助を実施した(補助施設20施設、補助金額226,082千円)</p> <p>→ 二次救急医療機関のうち、専門科(脳外科)医療機関の運営に必要な経費(報酬、給料、職員手当等、法定福利費、賃金等)に対して補助を実施した。(補助施設7施設、補助金額28,740千円)</p>
イ 急性期後の医療	<p>→在宅要介護者を介護する者(在宅介護者)への訪問歯科保健指導に必要な機器等の購入補助を行った。(平成25年度16件)</p>

<p>→湘南西部地区地域連携クリティカルパス検討委員会及び湘南西部地区地域連携クリティカルパス検討委員会ワーキンググループにおいて多職種協働による在宅医療の推進及び維持期医療機関・介護施設等へのパス運用拡大について検討を行った。</p>
<p>ウ 医療機能の情報提供及び連携の推進</p> <p>→脳卒中の治療に対応できる医療機関について、県内の医療機関からの報告を受け、かながわ医療情報検索サービスのホームページにおいて公表した。</p> <p>→湘南西部地区地域連携クリティカルパス検討委員会及び湘南西部地区地域連携クリティカルパス検討委員会ワーキンググループにおいて多職種協働による在宅医療の推進及び維持期医療機関・介護施設等へのパス運用拡大について検討を行った。</p>

2 目標値の推移

	名称	単位	策定時	実績値 (H25)	達成目安 (年平均)	目標値 (H29年度)	達成率 (%)	備考
(1)	特定健康診査の実施率	%	40.3 (H22)	42.9 (H24)	48.7 (H24)	70.0以上	30.9	医療費適正化 計画
(2)ア	脳梗塞に対する t-PA に よる脳血栓溶解療法適用 患者への同療法実施件数	件	286 (※1) (H22)	H26年度 中に把握 予定	313	350 (※2)	—	NDB
(2)ウ	地域連携クリティカルパ スに基づく診療計画作成 等の実施件数	件	870 (※1) (H22)	H26年度 中に把握 予定	1,088	1,380 (※2)	—	NDB
—	男性 脳血管疾患年齢調 整死亡率 (人口10万人対)	%	44 (H22)	—	—	38.0 (H34)		かながわ健康 プラン21 (第2次)
—	女性 脳血管疾患年齢調 整死亡率 (人口10万人対)	%	25.7 (H22)	—	—	23.8 (H34)		かながわ健康 プラン21 (第2次)

※1 平成22年10月から平成23年3月までの6か月間の件数

※2 平成29年度中の6か月間の件数

3 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県内		備考
				H24 年度	H25 年度	
(1)	◎	特定健康診査の実施率	%	68.2 (H22)	—	H22 年国民生活基礎調査

4 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 予防

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<p>「かながわ健康プラン21（第2次）」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病等の予防に向けた取組を健康寿命の延伸を図る県民運動として推進していく体制の充実強化が図られた。 数値目標に掲げる特定健康診査の実施率については、数値目標の目安に対して達成が遅れている。
評価理由	<p>特定健康診査の実施率については、数値目標の目安に対して達成が遅れているものの、「健康寿命日本一」（健康寿命の延伸）の課題達成に向け、着実に進捗しており、全体としては、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。</p>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 新たな取組等が県民の健康づくりに定着化するように、市町村、企業・団体と連携して取り組む。

(2) 医療

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<p>ア 病院前救護体制及び急性期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次救急医療機関の施設・設備整備や運営に対して助成し、急性期医療の充実が図られた。
	<p>イ 急性期後の医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅介護者への訪問歯科保健指導に必要な機器等の整備に対する助成や保健福祉事務所が主催する委員会等において多職種協働による在宅医療の推進や維持期医療機関・介護施設等へのパス運用拡大について検討が行われた。
	<p>ウ 医療機能の情報提供及び連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 脳卒中の治療に関する医療機能について、必要な情報提供が果たされた。
評価理由	<p>地域連携クリティカルパスのICT化の検討の進捗に遅れがあるものの、急性期医療及び急性期後の医療において必要な機器等の整備がなされ、地域連携クリティカルパスの在宅医療や介護施設への運用拡大が検討されるなど、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。</p>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> H25 年度に引き続き、委員会等で地域連携クリティカルパスの発行数の増、維持期機関へ連携のための登録数の増、普及啓発について検討し、脳卒中における医療連携体制の構築を図る。

5 総合評価

評価	評価理由
B	数値目標に掲げる特定健康診査の実施率については、数値目標の目安に対して達成が遅れているものの、「かながわ健康プラン21（第2次）」に基づき、予防体制が整備されつつあり、急性期医療及び急性期後の医療においても必要な機器等の整備がなされ、地域連携クリティカルパスの在宅医療や介護施設への運用拡大が検討されるなど、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

6 特記事項

--